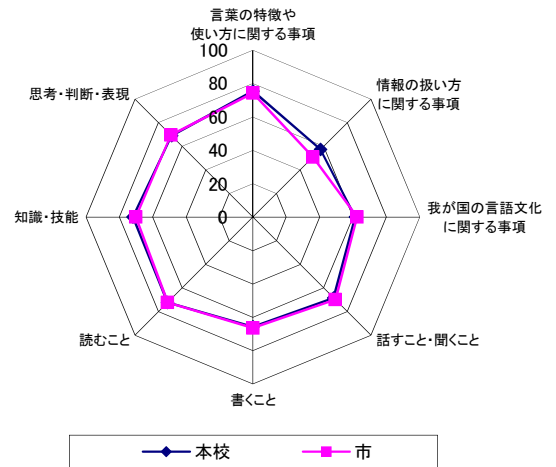


宇都宮市立ゆいの杜小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	75.5	74.3	74.8
	情報の扱い方に関する事項	57.3	50.9	48.4
	我が国の言語文化に関する事項	61.3	62.4	60.8
	話すこと・聞くこと	68.4	69.9	69.7
	書くこと	65.8	66.4	64.6
	読むこと	72.2	72.3	71.0
観点別	知識・技能	71.9	70.1	70.0
	思考・判断・表現	68.9	69.5	68.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

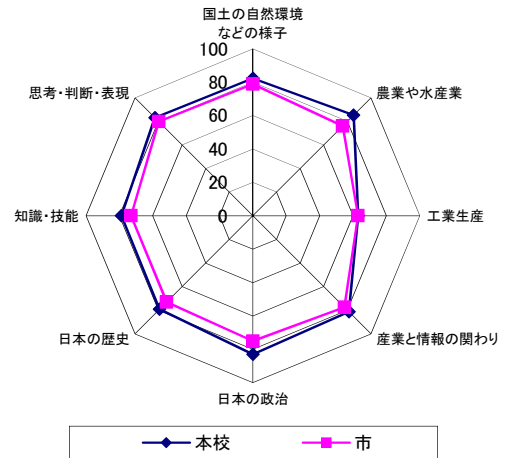
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字を書いたり読んだりする設問では、ほとんどの問題で市の平均を上回った。 ○三字熟語の構成の平均正答率では、市の平均を7.8ポイント上回った。尊敬語や謙譲語についての設問についても平均正答率は市の平均よりも高い。 ●文脈に沿った漢字を穴埋めする問題では、市の平均を6.0ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ○漢字の意味を理解して使うことや、読み書きの繰り返し学習などを行うことで、既習漢字の理解の定着を図る。 ●作文を書く際には、文脈に沿った漢字を使うよう指導したり、朝の学習などで、熟語や敬語についての問題に触れさせたりして、さらに定着を図れるようにする。
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報の関係について理解する問題の平均正答率は、市の平均正答率を8.2ポイント上回っている。 ●情報と情報を結び付けて目的に応じて文章を書く問題では、市の平均正答率を上回っているものの、正答率は34.7%と低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報を整理するために、構成メモを工夫して書いたり、意見文や報告文など様々な文種に触れさせたりする。 ●文章だけでなく、様々な資料をから読み取れることを整理して、相手に分かりやすく伝える活動を適宜取り入れる。
我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の由来に関する問題の平均正答率は61.3%で、市の平均正答率を1.1ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○辞書などを活用して、漢字の成り立ちや由来、つくりなどについて興味をもたせるようにする。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手の目的に応じて、話の内容を捉える問題では、平均正答率が100%と、市の平均正答率を1.9ポイント上回っている。 ●互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合うために、司会者としてどんな発言をすればよいかを考える問題では、市の平均正答率を8.1ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマに沿った話し合いを行う方法や、司会の役割を意識させながら、様々な教科の中で、話し合いの場を設定する取り組みを行っている。 ●どの児童にも話し合いの進行の仕方を身にさせるようために、相手の立場や意図を考えながら、計画的に話し合うよう指導する。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率は、市の平均正答率と比べるとやや低い。 ○グラフから読み取った事実を書く問題の平均正答率は、80.0%で、市の平均正答率をやや上回っている。 ●指定された長さで文章を書く問題の平均正答率は、市の平均を5.3ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○条件に沿って書く活動を、普段の授業などで取り入れ、字数に合わせて書いたり、条件に合わせて書く経験を増やす。 ●朝の学習や、隙間の時間に書く活動を取り入れ、書くことへの抵抗感を減らし、書くことに慣れるよう支援する。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報の関係を理解しながら、説明文の内容を読み取る問題では、市の平均正答率を4.8ポイント上回っている。 ○物語文の読み取りで、登場人物の行動を、描写をもとに捉える問題では、市の平均正答率を2.5ポイント上回っている。 ●説明文の読み取りで、文章の論の進め方を捉える問題では、市の平均正答率を13.7ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○説明文の読み取りでは、児童が自分で文章の構成を捉えられるよう、支援していく。そのために、宿題などでも、教科書にない文章の構成を考える機会を設ける。 ●発達の段階に応じて、論の展開の仕方の工夫や文の特徴について考える機会を設ける。

宇都宮市立ゆいの杜小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	82.4	78.9	75.4
	農業や水産業	85.3	76.1	71.2
	工業生産	63.1	62.9	59.4
	産業と情報の関わり	81.3	77.6	59.7
	日本の政治	83.0	75.0	79.3
	日本の歴史	79.2	73.1	72.8
観点別	知識・技能	78.7	73.0	71.4
	思考・判断・表現	83.0	79.8	71.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

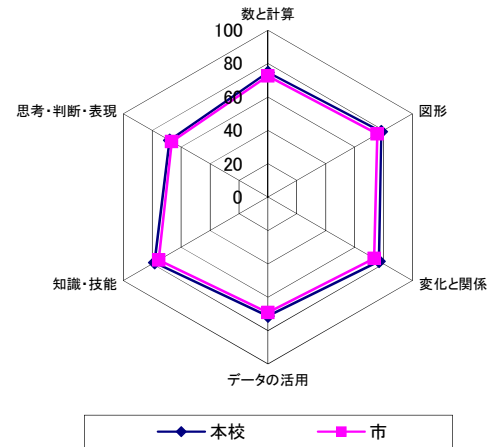
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○日本の周辺の海洋名について問う問題では、市の正答率を7.4%上回った。 ●日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに地図を読み取る問題では、市の正答率を0.4%下回った。	・授業中だけでなく自主学習等でも地図帳で国・県の位置や地形などを確認させる機会を多くもたせ、社会科をより身近な教科とする。
農業や水産業	○都道府県の位置の理解をもとに、米の生産量について表を読み取り、白地図にまとめる問題では、市の正答率を13%上回った。 ○全ての問題について、市の正答率を上回った。	・引き続き、農業や水産業に対して興味関心をもてるような指導を行い、理解を深めさせていきたい。
工業生産	○日本の鉱産資源の輸入について資料を読み取る問題では、市の正答率を2.9%上回った。 ●自動車工場の作業工程について問う問題では、市の正答率を2.9%下回った。	・日本の主要産業に目を向けさせ、授業の中で教科書や資料集を基に、自動車工場の作業工程などに触れさせるようにする。 ・授業において、たくさんのグラフや資料を提示しながら、分かることを読み取る練習をする。
産業と情報の関わり	○インターネットを利用するときの注意点について問う問題では、市の正答率を5.8%上回った。 ●各問題で市の正答率を上回っているが、資料に着目してコンビニエンスストアのポイントカードについて利点を考え表現する問題は、68%と正答率が低かった。	・資料に着目してその資料が何を表しているのか、その資料の特徴を理解し記述できるようにするため、授業において、資料を読み取り、自分の考えをまとめる時間を十分に確保する。
日本の政治	○非核三原則について問う問題では、市の正答率を17.4%と大きく上回った。 ●国会の仕組みについて問う問題では、市の正答率を0.5%下回った。	・国会、内閣、裁判所の働きと国民を関連付けて考えたり、国民として政治への関わり方を考えられるように指導していく。
日本の歴史	○元寇についての理解をもとに資料を読み取る問題では、市の正答率を16.8%と大きく上回った。 ●江戸時代の主な大名の配置について資料を読み取る問題では、市の正答率を4.9%下回った。	・それぞれの時代の重要な人物について、行った政策や、人物相互の関連を押さえる指導を行い、理解を深めさせていきたい。 ・それぞれの時代の文化については、その特徴を理解し、記述できるようにするため、自分の言葉でまとめる時間を確保する。

宇都宮市立ゆいの杜小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	74.8	72.6	73.1
	図形	78.5	75.7	74.7
	変化と関係	76.9	73.6	66.1
	データの活用	71.3	69.2	70.7
観点別	知識・技能	78.4	75.5	74.4
	思考・判断・表現	68.0	66.5	67.2



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

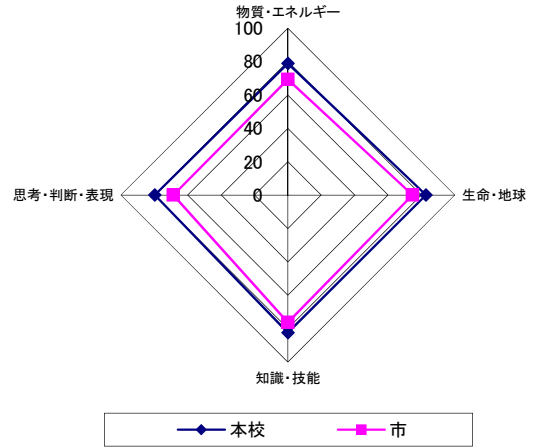
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○分数のかけ算やわり算の問題では、正答率がともに94.7%と高くなっている。また、2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求める問題では、市の平均を8.8ポイント上回った。 ●整数×少数と、整数×分数の計算に共通するかけ算の性質を判断する問題では、市の平均を18.5ポイント下回った。	・現学年の学習内容だけでなく、今までの学年での既習事項が身に付くよう、宿題、自主学習、朝の学習の時間を活用し、既習事項を繰り返し練習させる。 ・文章問題を解く際に、問題解決の手立てとなる文中の言葉に注目させたり下線を引かせたりするなど、筋道を立てて考えていく活動を取り入れる。
図形	○直方体を組み合わせた体積を求める問題では、正答率が92%と高く、市の平均を10.6ポイント上回った。また、高さが図形の外にある平行四辺形の面積を求める問題では、市の平均を15.4ポイント上回った。 ●線対称な図形の対応する点を見つける問題では、正答率が48.0%にとどまった。	・線対称な図形か点対称な図形かを考えさせる機会を設け、それぞれの図形の性質や特徴に着目させる。 ・線対称や点対称の意味や性質について、具体物を使って考えたり、作図などをさせることを通して、理解を深められるようにする。
変化と関係	○半分の割合が何%であるかを答える問題、値に0があり、答えが小数になる分離量の平均を求める問題、円グラフを読み取る問題では、正答率がいずれも90%を超えた。 ●円グラフから割合を読みとり、基準量から比較量を求める問題では、正答率が38.7%にとどまった。	・単位量当たりの大きさを求める問題では、様々な問題に触れさせる際に、しっかりと問題文を読み、何を求める問題なのかを考え、目的に応じて、どの量をどのように使うのかを判断できるように意識して問題に取り組ませる。
データの活用	○小数の除法の考え方をもとに、整数×分数の計算の仕方を考え、説明する問題では、市の平均を7.3ポイント上回った。 ●代表値を用いて、その記録がクラスの半分より高い記録なのかどうかを説明する問題では、正答率が32.0%にとどまった。	・データ全体を表す指標として、「平均値」「中央値」「最頻値」などの代表値について繰り返し指導する。また、データの分布の様子を捉えることにも着目させ、ドットプロットに表したり、グラフ化したものを読み取れるように、繰り返し問題に取り組ませる。

宇都宮市立ゆいの杜小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	78.9	69.3	65.7
	生命・地球	82.8	74.7	77.8
観点別	知識・技能	82.4	76.2	76.4
	思考・判断・表現	79.7	68.7	68.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、すべての設問で市の平均正答率を上回っている。</p> <p>○燃焼の実験の考察について、より妥当な考えに修正することができる児童が多い。</p> <p>●他の設問に比べ、比較実験の方法や制御する条件を問う設問の正答率が低く、課題が見られる。</p>	<p>・問題解決的な学習の中で、与えられた条件の中で自分たちで実験方法を考える時間を確保し、予想や仮説を基に解決の方法を発想する力を養う活動の充実を図る。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市の平均正答率より高い。</p> <p>○記述式の問題に関しては市の平均正答率を約20ポイント上回っている。自分の考えを書く活動を重視してきた成果が表れてきていると考えられる。</p> <p>●市の平均正答率を上回ってはいるが、呼吸と光合成の気体の出入りについて問う設問の正答率が低く、課題が見られる。</p>	<p>・予想、実験方法、考察などを考え、自分の言葉で書く活動をさらに充実させる。</p> <p>・混同しやすい知識については、整理して繰り返し復習する機会を設けていく。</p>

宇都宮市立ゆいの杜小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<p>教員それぞれの専門性を生かした教科担任制の取組。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年を中心とした教科担任制の実施。 ・道徳のローテーション授業の実施。 	<p>「勉強がすきか」の設問では、市の肯定割合をやや下回った。「学校の授業がどの程度分かるか」の設問では、やや上回った。</p>
<p>家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の内容や方法を示し、参考になりそうな実践をクラスの児童に紹介する。 ・保護者が家庭学習や自主学習ノートを確認する機会を設定する。 	<p>「宿題はきちんとやっている」の設問では、市の肯定割合をやや上回った。「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の設問では、ほぼ同等であった。</p>

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・各教科等の授業において、教科主任を中心として教材研究を深め、それぞれの学習への興味関心を高める。さらに教員の授業力向上から児童の学力向上を図り、学びを喜ぶ児童の育成を目指したい。

・家庭学習については、学年で内容をよく検討し、めあてをもって取り組めるようにする。また、「家庭学習振り返り週間」を実施し、保護者にも励ましや、頑張りを認めてもらえる機会を増やしていくことで自主的に取り組む児童を増やしていきたい。